

組織部速報

2015年 7月 4日

No. 3

安全確立の闘い

不審に感じたら列車を止めよう！

線路閉鎖工事中に列車が走行する事象が発生

過日、東室蘭操車場において線路閉鎖工事中に当該箇所を列車が走行する事象が発生しました。線路閉鎖工事中に走行してきた列車を駅側と保全側が誤った打合せをしてしまい、工事中の構内に列車を進入・進出させてしまいました。

工事中の区間に列車を走行させると、そこに働く組合員が危険にさらされ、命を落とす事態になりかねません。鉄道に働く者として、不審に感じたら列車を停める事を徹底しましょう。



背景にゆとりのない職場環境

また、今回の事象は駅側も保全側も実際定められた手順を「知らなかった」ことが原因となっています。過去に線路閉鎖工事中に関する事象が多発したにも関わらず正しい対策や教育がされていなかった事を会社は重く受け止めなければなりません。また、経験の浅い工事責任者を配置せざるを得ない職場状況となっています。度重なる効率化により職場には余裕がありません。安全第一の職場とするために、JR貨物改革の闘いを押しすすめます。